

デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.264-265 工業の発展と人々の生活の変化
2. 目標 (1) 交通網の整備に伴ってみられる、東北地方の工業や人々の生活の変化を理解できる。
(2) 東北地方では、再生可能エネルギーの導入が盛んであることを理解できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方で工業が盛んな都市の分布の特色を理解している。 ・東北地方の伝統的工芸品の特色と変化を理解し、その背景を踏まえて説明している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方では、再生可能エネルギーの導入が進められていることを理解し、再生可能エネルギーの在り方について関心を持ち、追究している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)				
導入	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「自動車工場」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 自動車工場が大衡村に造られた理由を予想し、学習課題への見通しを持つ。 	 <p>p.264 1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自動車工場は、どのような場所に造られているのだろうか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自動車工場が大衡村に造られた理由を予想してみよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自動車工場」の写真を題材にし、大衡村の場所を地図帳で確認させながら、本時への導入を図る。 ○ 自動車工場が大衡村に造られた理由を予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。 				
学習課題：東北地方の工業は、交通網の整備や人々の生活の変化とともに、どのように発展してきたのだろうか。							
展開	<ol style="list-style-type: none"> 3. 東北地方の工業出荷額がどのように変化してきたか理解し、変化してきた要因を考える。 <p>(1) 東北の工業出荷額の変化とその要因</p>	 <p>p.264 3</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">グラフから読み取れること</th> <th style="width: 50%;">要因</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="color: red;">(例) 1970年ごろから、大きく増加してきたが、2000年ごろからは変化が少ない。</td> <td style="color: red;">(例) 1970年代から1980年代にかけて、東北自動車道や東北新幹線などの交通網が整備されたことで、沿線に工業団地が造られたため。</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">工業出荷額の変化について、グラフから読み取れることを挙げ、その要因を考えてみよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">工業出荷額の増加に伴い、グラフから読み取れる東北地方の変化を挙げてみよう。</div>	グラフから読み取れること	要因	(例) 1970年ごろから、大きく増加してきたが、2000年ごろからは変化が少ない。	(例) 1970年代から1980年代にかけて、東北自動車道や東北新幹線などの交通網が整備されたことで、沿線に工業団地が造られたため。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習プリントを活用し、東北の工業出荷額の変化について、グラフから読み取れることと、その変化の要因をまとめさせる。 ◆ 東北地方の工業出荷額は、1970年ごろから伸びてきたことに気付かせ、東北自動車道や東北新幹線が整備されてきた時期と重なっていることを理解させる。 ○ 工業の発展に伴う変化について考えさせる。 ◆ 出稼ぎ者が1970年をピークに減少し、現在はほぼなくなったことに気付かせる。
グラフから読み取れること	要因						
(例) 1970年ごろから、大きく増加してきたが、2000年ごろからは変化が少ない。	(例) 1970年代から1980年代にかけて、東北自動車道や東北新幹線などの交通網が整備されたことで、沿線に工業団地が造られたため。						

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開</p>	<p>(2) 主な工業都市</p> <p>4. 東北地方では、再生可能エネルギーの導入が盛んになっていることを理解し、その意義について考える。</p> <p>5. 東北地方は、伝統的工芸品の生産が盛んなことを理解し、生産者が抱える課題について考える。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">工業都市</td> <td>仙台、福島、郡山、いわき、金ケ崎、八戸</td> </tr> <tr> <td>工業製品</td> <td>(例) 自動車、情報通信機器、化学製品</td> </tr> </table>  <p>p.264 2</p> <p>工業出荷額が 5000 億円以上の都市と主な工業製品を挙げてみよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>p.264 4</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>p.157 8</p> </div> </div> <p>東北地方で導入が進んだ再生可能エネルギーには、どのような発電方法があるのか挙げてみよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>p.265 6</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>p.265 8</p> </div> </div> <p>伝統的工芸品とは何だろうか。また、東北地方ではなぜ伝統的工芸品の生産が盛んなのだろうか。</p> <p>生産者が抱える課題を挙げてみよう。</p>	工業都市	仙台、福島、郡山、いわき、金ケ崎、八戸	工業製品	(例) 自動車、情報通信機器、化学製品	<p>○ 学習プリントを活用し、東北地方で工業が盛んな都市と主な工業製品をまとめさせる。</p> <p>◆ 福島市、郡山市、いわき市など、高速道路沿いに工業が盛んな都市が多いことに気付かせる。</p> <p>◆ 東北地方では再生可能エネルギーの導入が盛んであることを理解させ、どのような発電方法があるのか挙げさせる。</p> <p>○ 東日本大震災で発生した原発事故をきっかけに再生可能エネルギーの導入が進んだことを補足する。</p> <p>○ 東北地方で盛んな伝統的工芸品と、近年の変化について調べさせる。</p> <p>◆ 南部鉄器は、古くから地元でとれる資源を利用して作られてきたことや、デザインを工夫し、海外に輸出するようになったことを理解させる。</p> <p>◆ 職人の高齢化や後継者不足が課題であることを理解させる。</p>
	工業都市	仙台、福島、郡山、いわき、金ケ崎、八戸					
工業製品	(例) 自動車、情報通信機器、化学製品						
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">整理</p>	<p>6. 本時のまとめをする。</p> <p>7. 学習課題への振り返りの活動を行う。</p>	<p>東北地方の伝統的工芸品はどのように変化しているのか、説明しよう。</p> <p>「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。</p>	<p>◆ 東北地方の伝統的工芸品の変化について、新しいデザインや用途を工夫し、海外への輸出を目指していることなどを説明できたか確認する。</p> <p>○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。</p>				
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">節の振り返り</p>	<p>8. 「節の問い」への振り返り活動を行う。</p>	<p>東北地方における人々の生活や文化に、自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。</p> <p>この節で学んだことから、次の節に生かせることを考えてみよう。</p>	<p>○ 「節の振り返り」へ記入させ、次節の学習へつながりを持たせる。</p>				